



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成30年(2018年)
4月5日
木曜日
第198号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3134 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



静岡県では、本県の教育の理念や施策の基本方針を示した「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」と、大綱を踏まえ今後4年間で取り組むべき施策をまとめた「静岡県教育振興基本計画」を策定しました。

確かな学力を向上させるための「知性を高める学習」の充実はもとより、農林水産業・工業・商業をはじめスポーツ、芸術等の様々な分野において自らの才能を伸ばす実践的な学問としての「技芸を磨く実学」の奨励にも積極的に取り組みます。また、グローバル化が急速に進展する社会において、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を持ち、世界の中の日本、そして静岡を認識し、活躍できる人材の輩出を目指し、高校生や教職員の海外体験を推進するとともに、社会問題になっているいじめ・不登校や子供の貧困問題等の解決に向け、社会総がかりでの教育を実現してまいります。

子供は社会の宝です。子供たちが生き生きと学び続けられるよう、学校と家庭・地域・企業等が連携し、「静岡県ならではの魅力ある教育施策を展開してまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

静岡県教育委員会 委員長 木苗直秀

ふじのくに「有徳の人」づくり大綱&静岡県教育振興基本計画 (期間2018年度~2021年度)

ふじのくに「有徳の人」づくり大綱

本県における教育の基本理念を全ての県民が共有し、社会全体で「有徳の人」づくりに取り組むため、「有徳の人」づくり宣言をします。

「有徳の人」づくり宣言

教育における地方創生を実現し、気品をたたえ、調和した人格をもち、また、「富士」の字義にふさわしい物と心の豊かさをともに実現する「有徳の人」を育成するため、

- 一、「文・武・芸」三道の鼎立を実現します。
- 一、生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境を実現します。
- 一、地域ぐるみ、社会総がかりの教育を実現します。



「有徳の人」って?

- ①自らの資質・能力を伸ばし、個人として自立した人
・様々なことに興味を持ち、自らの知識を増やす努力をしている人 など
- ②多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にすること
・一人一人の長所を見つけ、相手の立場を尊重できる人 など
- ③社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人
・困っている人を見たら、手を差し伸べることができる人 など

表紙絵は県立御殿場特別支援学校高等部A組生徒の作品「富士の如く～僕らの学校～」



静岡県教育振興基本計画

「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」の基本理念を踏まえ、今後4年間に取り組むべき教育施策をまとめました。

第1章

「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

- ①「知性を高める学習」の充実
- ②「技芸を磨く実学」の奨励
- ③学びを支える魅力ある学校づくりの推進

第2章

未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

- ①グローバル人材の育成
- ②イノベーションを牽引する人材の育成
- ③高等教育機関の機能強化

第3章

社会総がかりで取り組む教育の実現

- ①新しい時代を展望した教育行政の推進
- ②地域ぐるみの教育の推進
- ③誰もが夢と希望を持ち社会の担い手となる教育の推進
- ④「命を守る教育」の推進

表紙絵は県立清水南高等学校 山梨 蓮さんの作品
平成29年度静岡県高等学校総合文化祭ポスターコンクール 最優秀賞



平成30年度静岡県教育委員会「教育行政の基本方針」

「有徳の人」の育成に向けては、子供たち一人一人の能力、適性、意欲、成長に応じて、それぞれが持つ資質を十分に伸ばしていく教育を社会全体で進めていくことが必要です。「静岡県教育振興基本計画」に基づく、今年度の重点的な取組について紹介します。

1 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現 ～「静岡県ならではの」魅力あふれる学校づくりに向け～

- (1)「知性を高める学習」の充実
 - ◆静岡式35人学級編制の充実や探究的な学習の推進等を通じて「確かな学力」の向上を図ります。
 - ◆各教科等の授業におけるICT活用を推進します。
- (2)「技芸を磨く実学」の奨励
 - ◆文化・芸術、スポーツ活動の充実のため、部活動指導員等の活用促進、地域の文化や資源を活用した地域学習を推進します。
 - ◆県立学校における専門学科の充実を図るため、農・水・工・商の教育の充実や新しい専門学科の設置に向けた検討等を行います。
- (3)学びを支える魅力ある学校づくりの推進
 - ◆教職員と子供が向き合う時間を拡充するため、教職員の多忙化解消に向けたサポート体制を充実します。
 - ◆教員等育成指標に基づく、キャリアステージに応じた資質能力を高める研修を実施します。
 - ◆児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援の推進や高等学校における通級指導への取組等、特別支援教育の充実を図ります。

2 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現 ～世界の中の日本、静岡を認識し、活躍できる人材の輩出に向け～

- (1)グローバル人材の育成
 - ◆海外留学や海外教育旅行の促進を図るとともに、外国語教育や国際理解教育を推進します。
- (2)イノベーションを牽引する人材の育成
 - ◆専門的知識や技能を有する外部人材の活用、高大連携の推進等により、多様な学習機会の提供を推進します。

3 社会総がかりで取り組む教育の実現 ～地域全体で、様々な状況の子供たちに対するきめ細かな支援の充実に向け～

- (1)地域ぐるみの教育の推進
 - ◆「しずおか寺子屋」等の地域の人材を活用した学習支援の推進や「地域学校協働本部」等の設置を促進し、地域の教育力向上を図ります。
- (2)誰もが夢と希望を持ち社会の担い手となる教育の推進
 - ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充により、いじめ・不登校、貧困等に対する相談支援体制の充実を図ります。

—地域で学び、育ち合う特別支援学校のさらなる充実を目指して— 静岡県立特別支援学校施設整備基本計画を策定しました

この計画は、2017年度から10年間にわたる県立特別支援学校の整備についてまとめたもので、2018年2月に策定しました。

県教育委員会では、「障害の有無に関わらず、幼児児童生徒が、居住する地域社会で共に支え合い育つとともに、個々の教育的ニーズに応じた適切な教育が受けられるようにすること」を目指しています。本計画に基づき、新しい学校を整備することで、子どもたちが自宅からできるだけ近い学校で学び、交流及び共同学習を通して、地域とのつながりを深めることができるようにしていきます。

計画の概要

- ☆期間 2017年度から2026年度までの10年間
- ☆方針
 - ・知的特別支援学校の施設狭隘(きょうあい)化及び通学負担を最も優先度の高い課題と捉え、それらを解消する整備を行います。
 - ・知的特別支援学校の施設狭隘化と通学負担以外の課題は、整備時に必要な対策を講じます。
 - ・知的障害以外の特別支援学校における課題は、必要に応じ対策を講じます。

☆整備箇所

《2017年度～2021年度着手》

2016年度現在、施設狭隘化・通学負担が大きい地区(地図参照)

《2022年度～2026年度着手》

児童生徒数の推移や課題の解消状況を検証した上で、2021年度に決定します。



【特別支援教育課】

2018 彩る感動 東海総体

インターハイ開催まであと4カ月!
～高校生が大会を盛り上げます～

開催期間 2018年7月26日～8月20日

2018(平成30)年度インターハイでは参加する選手と共に感動し、達成感を味わうことができるよう開催に向けたPR活動や歓迎活動など、多くの高校生が準備に携わっています。今回は大会を盛り上げるため積極的に活動する高校生の様子を紹介します。

静岡県	開催競技	会場市
体操(体操・新体操)		静岡市
女子サッカー		藤枝市
バドミントン		浜松市
相撲		沼津市
弓道		袋井市
自転車(トラック・ロード)		伊豆市

◆ 高校生活動推進委員会 ◆

各競技会場及びその周辺地区ごとに定めた中心校の代表生徒が集まって県高校生活動推進委員会を年4回実施しました。委員会では、総合開会式前に流す郷土の魅力などを伝える映像の制作や、全国から訪れる選手や監督に配布する手作り記念品について、協議しました。手作り記念品は、紙バンドを素材とした「しおり」に決定し、多くの高校生が作成を進めています。



心を込めてしおり作成中!

◆ 静岡県開催競技種目別ポスター決定 ◆

静岡県開催競技のポスターを高校生が制作しました。多くの応募作品の中から、競技ごとに最優秀賞1点を決定しました。最優秀作品は、大会会場等に掲示されるなど、大会のPRに活用されています。



最優秀賞ポスター【体操競技】

◆ カウントダウンボード製作 ◆

大会への機運を日々高めるため、各開催市の近隣に所在する工業高校の生徒がカウントダウンボードを製作しました。各校が工夫を凝らしたカウントダウンボードは、それぞれの市の庁舎等に設置され、大会ムードを盛り上げています。大会期間中には駅や大会会場等にも設置される予定です。



科学技術高校の生徒が製作したカウントダウンボード

全国から訪れる選手や関係者の方々を「おもてなしの心」で温かく迎え、選手が最高の力を発揮できる大会となるよう、開催市と連携し、平成3年以來27年ぶりに静岡県で開催されるインターハイの成功に向けて万全を期してまいります。

【全国高校総体推進室】



公式ホームページはこちら!

<https://www.koukousoutai.com/2018soutai/>

東海総体 で 検索

「子どもを信じて待つ教師」 賀茂地域の理想の教育の実現に向けて③

“授業改善を願う一人一人の思いに応えたい”“学校に近い指導主事のフットワークの良さを生かしたい”、そのような思いで、賀茂地域教育振興センターの指導主事は、要請訪問(学校等からの要請に応じて実施する訪問指導)を行っています。今回は採用2年目のT先生への訪問指導の様子を紹介します。

初回の訪問では、T先生の丁寧な説明で学習が進められる授業を参観しました。指導主事は、そこに課題があると考えます。教師の説明だけでなく、子ども同士の関わりを大切に、子ども自らが課題解決に向かう授業改善に向け、「子どもの力を信じて待つ」ことを助言しました。

助言後の算数(4年生)の授業です。「シールは全部で何枚あるか1つの式で表して求めよう」という学習課題で授業が始まりました。多くの子が「 $4 \times 8 + 6 \times 8 = 80$ 」という式で計算する中で、A男がB子の考えた「 $(4+6) \times 8$ 」という式で計算することに疑問を投げ掛けます。T先生は、A男のこの発言がきっかけとなり、子どもたちが自らの力で解決に向かっていけるのではないかと感じ、教師が出るタイミングを慎重に見極めようと考えました。そして、以下のようにA男の発言後に関わりました。

- A男：なんで $4+6$ に()を付けるんですか?
- B子：横は8で一緒だけど、たては4と6で数が違うから()を付けます。
- A男：でも、()を付けなくてもいいんじゃないですか?
- T先生：この()にはどんな意味があるんだろう?
- C男：これは、かけ算と足し算だから…。ん?何かおかしいかも…
- D子：あれ? ()を付けないと答えが52になっちゃうんじゃない?
- A男：そうか、答えが変わっちゃうんだ…。でも、それだったらEさんのように「 10×8 」ってやればいいんじゃないですか?
- B子： 10×8 でも答えが一緒になるからいいかもしれない。でも、図がなかったら何を足しているのか分からないよ。もしかしら「 $9+1$ 」とか「 $8+2$ 」かもしれないじゃん。
- ：ああそうか、なるほど!(子どものつぶやき)



「あれ?」「そうか」「でも」「それだったら」「もしかしら」など、子どもたちの言葉からは、自分たちで考え合って、課題の解決に向かっていく姿が表れています。この後も話し合いは続き、子どもたちは、()をつけることの意味理解を深めていきました。T先生は事後研において、「これまでこうした場面で子どもたちの話し合いに割って入ることが多かった」「子どもたちが自らの力で解決したり発見したりしていく可能性を、自分の関わるタイミングによって奪っていたのかもしれない」と話していました。子どもの力を再認識したこと、子どもの追究に即して効果的な教師の関わりを考えたこと、T先生が子どもを信じて待つことの大切さを実感する訪問指導となりました。

【義務教育課・静東教育事務所】

「静岡どぼくらぶ」講座! 小学校から高校まで、各校からの依頼を受け付けます



「静岡どぼくらぶ」とは?

土木の将来、静岡県の未来を共に考え、土木の現場でつながるサークル(仲間)

各地域のさまざまな工事現場やインフラ施設見学

最寄りの場所から大規模な工事現場まで、海、山、川、道路などさまざまな工事現場の見学をご提案します。



ダム 斜面対策 トンネル ハイパス道路建設

建設業の仕事伝える学習講座

県の技術職員や県内建設企業経営者等が土木の仕事内容や社会的意義、やりがいを伝えます。ICT(ドローン・レーザー)を使った3次元データなど最先端の土木業界もご紹介します。



ドローンの紹介と土木での使い方の学習 3次元情報で作られた白糸の滝改修後の図

講座の企画・調整について

対象地域: 県内どこでも、講座が開催可能です。
必要時間: 現場見学会は2時間程度、講座は30分から実施できます。
費用負担: 現場見学会は移動費用を当該で負担ができる場合があります。講座の講師料は不要です。
注意事項: 場所によっては、工事現場がなく、現場見学が提案できないことがあります。

「静岡どぼくらぶ」講座を希望される学校・団体は、関係の県土木事務所・港管理事務所または建設業課へご連絡ください。時間・場所・内容など、希望を教えてください。講座の計画から必要な講師の手配まで、フルオーダーメイドでご対応します。

問 県交通基盤部 建設業課 TEL054(221)3057

Eメール kensetsugyou@pref.shizuoka.lg.jp



ふじのくにグローバル人材育成事業 「平成30年度教職員海外研修」参加者募集中

県教育委員会では、高校生の海外留学や、グローバル教育を推進する学校及び教職員を支援するため、平成28年4月に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設しました。

平成30年度も、海外の学校や教育機関で、教科指導力の向上や教育課題の解決に取り組む意欲ある教職員を募集します。積極的な応募をお待ちしています!

対象 10人程度

- ・静岡県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に勤務する教職員(臨時的任用職員及び非常勤を除く)のうち、年齢50歳未満(平成31年3月31日時点)の者
- ・学校運営及び教科等指導力向上に関する研修課題の解決を目指している者
- ・研修参加について所属長の推薦を受けている者
- ・研修の成果を教育現場に広く還元できる者

申込締切 5月25日(金) 支給経費 個人で自主的に企画する研修に対し、県の旅費規程に基づき50万円を上限に支給

応募方法等詳しくは、各学校に配付された「平成30年度静岡県教職員海外研修実施要領」をご確認ください。 問 教育政策課 TEL054(221)3674

参加者の声

静岡東高等学校 教諭 長谷川 直樹



平成29年11月25日 ~12月7日 台湾

【研修テーマ】

生徒の主体性を養うためには ~台湾の教育実践をヒントに~

台湾の授業では、生徒の考える時間やグループワークの時間を確保するために、ICTが効果的に活用されており、大変密度の濃い内容でした。帰国後は、台湾の授業を参考に、早速ICTを活用した授業を実践し、その効果を実感することができました。

今回の研修を通じて、「教育のグローバル化」を強く意識するようになりました。「未来」や「世界」といった視野を広げるためにも、大変有意義な研修だと感じました。

高校生への声掛けをお願いします!

ふじのくにグローバル人材育成事業では、県内の高校生を対象とした「長期留学」「短期留学」「県内大学と連携した留学(県教委主催)」等の参加者も募集します。

詳しくは、「ふじのくにグローバル人材育成基金」で検索

HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-020/globalkikin.html>

掛川西高校 地域と関わり 地域を盛り上げている高校生 韮山高校 熱海高校 日大三島高校

掛川城に輝くプロジェクションマッピングを作る!

掛川西高校の有志2年生の生徒でつくる実行委員会が、掛川城を舞台に、掛川の歴史などを描いたプロジェクションマッピングを上映しました。今回、実行委員会の生徒にお話を伺ってきました。

一高校生が掛川城でプロジェクションマッピングを上映したと聞いてビックリしたのですが…きっかけは何だったんですか?

学校で開催された講座でタブレット端末を使ったプロジェクションマッピングの作り方を学びました。講座を受けた後、「プロジェクションマッピングを広めたい」「地域のために何か取り組みたい」とみんなから自然と意見が出たことから活動が始まりました。

一掛川城で上映するという計画を実現する上で、地域からのサポートも大きかったと聞いています。地域の皆さんと関わる中で何か感じたことはありますか?

掛川市役所の方や、地域のかけがえのない街づくり会社の方など学校外の多くの皆さんが協力してくれました。地域の方と色々な話をする中で、私たち自身が掛川についてたくさんを知ることができ、今まで以上に地域に親しみを持つことができました。

一掛川城に上映した時を振り返って感想を聞かせてください。

地域の期待に応えられるか不安もありましたが、12月23日の上映当日は、1,000人以上の方が来場してくれました。地域の方が注目してくれていたことが分かって、すごく達成感がありました。今回の経験を生かして、プロジェクションマッピングを使って地域全体で楽しめる活動をこれからも続けていきたいです。



インタビューに答えてくれた実行委員の皆さん

色鮮やかなプロジェクションマッピングを動画でCHECK! 静岡県教育委員会フェイスブックで検索

インタビューの様子やプロジェクションマッピングの映像を編集した動画を静岡県教育委員会フェイスブックに公開しています。



ぜひご覧ください!



地域の魅力を発見し、地域への就職・定住につながる新聞を作る!

三島信用金庫が企画・発行し、韮山高校・熱海高校・日大三島高校の生徒が取材、執筆した、県東部の元気で魅力ある企業を紹介する「まち・ひと・しごと新聞」第2号が3月1日に発行されました。

今号では、企業の地域貢献の取り組みなどを写真入りで紹介し、地域で急速に進行する人口減少と企業活動の関係を考察しています。

新聞はカラーA3判4ページ。10,000部を発行し、三島信用金庫の支店や県東部総合庁舎等で掲示、配布されています。

「まち・ひと・しごと新聞」第2号は県東部地域局ホームページからダウンロードできます。東部地域以外にお住まいの方も、ぜひチェックしてみてください。

静岡県 東部地域局 で検索



広告



特別支援学校・学級も利用できます
小学校低学年向け
お店ごっこ体験



「ま・あ・る」は、仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済のしくみや地域産業について学ぶ施設です。平日は学校団体でご利用いただけます。キャリア教育・生活科・総合的な学習・社会科の時間に最適なプログラムを提供しています。



職業講話・職業体験
小学校高学年向け

【住所】静岡県静岡市清水区辻1-2-1 えじりあ3・4階 【開館】9:30~17:30
【電話】054-367-4320 【メール】maaru@maaru-ct.jp

まずはお電話でお気軽にお問合せください。ホームページから【学校利用の手引き】もダウンロードいただけます。

ま・あ・る HP

